

| 順序 | 発 言 者       |             | 答弁を求める者        |       |
|----|-------------|-------------|----------------|-------|
|    | 氏 名         | 会 派 名       | 市 長<br>関 係 局 長 | 教 育 長 |
| 6  | の ぐ ち 英 一 郎 | に じ と み ど り |                |       |

#### 発言の要旨

- 1 八重山一帯を大規模に森林伐採して地域を著しく分断しながら進める巨大風力ビジネスの計画について
  - (1)2048 年まで 19 年間の商業発電としている今の計画の事業規模額と本市財政への効果の見通し
  - (2)秋田県の風車羽根落下事故について
    - ①事故現場の詳細
    - ②八重山の遊歩道と重ね合わせた場合に考えられる登山者へのリスク
    - ③事故発生予防の具体を申し入れる市長の考え（6 月 6 日の市民グループからの要望書も踏まえ）
  - (3)鶴岡市長宛てに北海道の公害審査会委員から出された「風車騒音による睡眠への影響を考慮すれば、4.2 メガワットの風車では民家と風車の離隔距離は 2 km が必要」との意見書に対する見解
  - (4)ドイツ・バイエルン州の 10Hルール（風車の高さの 10 倍の離隔距離確保）に対する見解
  - (5)環境学習施設等の整備で一切のガイドライン不適合をクリアしてしまいかねない部分をめぐるやり取りの経過と今後
  - (6)30 by 30 とネイチャーポジティブから考える本ビジネスの白紙撤回についての市長見解
- 2 特別職報酬等改定議案について
  - (1)過去に本会議で要請した市民所得の中央値の把握と推移
- 3 新島のキャンプ場構想と行政連絡船の存続必要性について
  - (1)それぞれの現状と課題
- 4 全国手話言語市区長会メンバーとしてデフリンピックを応援することについて
  - (1)市長の取組と本市・本県からの選手応援
- 5 白線等道路標示が薄れかすれ消えている危険について
  - (1)来年 9 月からの幅員 5.5m 以下の道路は最高速度が時速 30km となる法制を踏まえた通学路などの塗り直しの急務についての認識と今後の対応
- 6 午前・午後・夜間といった公共施設の貸出し区分を 1 時間割も可能にする改定について
  - (1)現状と課題と見通し
- 7 在住外国人とインバウンドのための公共施設における多言語表示について
  - (1)現状と課題と見通し
- 8 改正公益通報者保護法への対応体制について
  - (1)現状と課題と見通し

|    |                                                                                      |        |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 6  | のぐち英一郎                                                                               | にじとみどり |
| 9  | <p>本年10月の住宅セーフティネット法改正対応について</p> <p>(1)現状と課題と見通し</p>                                 |        |
| 10 | <p>学校給食のセンター方式校と自校方式校それぞれの食材の調達価格について</p> <p>(1)適切な調達価格設定と物価高騰反映をそれぞれどのように行っているか</p> |        |
| 11 | <p>はたちの集いでパスポートと渡航機会を新たに提供することについて</p> <p>(1)市長の考えと鹿児島県におけるパスポート保有率とその全国順位</p>       |        |
| 12 | <p>リヤカー屋台振興活性のための電気と給排水整備について</p> <p>(1)市長の考えと課題</p>                                 |        |
| 13 | <p>東日本大震災の原発事故後の除染によって生じた汚染土壌について</p> <p>(1)市民に対する説明経過と本市に一切持ち込ませない市長の決意</p>         |        |
| 14 | <p>市役所が暑いことについて</p> <p>(1)来庁者と職員の現状と、設定している温度を下げることの課題と実現の見通し</p>                    |        |

| 順序 | 発 言 者     |       | 答弁を求める者 |       |
|----|-----------|-------|---------|-------|
|    | 氏 名       | 会 派 名 | 市 長     | 教 育 長 |
| 7  | 田 代 よ し き | 無 所 属 | 関 係 局 長 |       |
|    |           |       |         |       |
|    |           |       |         |       |

#### 発言の要旨

#### 1 鹿児島マラソンについて

- (1)フルマラソン、ファンランの申込者数及び県外申込者数（過去3年間）
- (2)海外からの申込者数の直近3年間の推移と要因
- (3)2025年大会について
  - ①収支決算と経済効果
  - ②早割の申込者数とフルマラソンの申込者数に占める割合
  - ③熱中症対策と効果
  - ④かごしま銭湯温泉郷入浴券の利用率と今後の課題
  - ⑤国道10号（磯・姶良間）の活性化策と参加者の声
  - ⑥SDGsの観点からの取組事例
- (4)定員の目標達成に向けた2026年大会の取組
- (5)市長がランナーとして参加することで、大会が盛り上がるという意見に対する市長の見解

#### 2 町内会運営の効率化について

- (1)町内会運営の現状
- (2)手続の総申請件数と電子申請件数について（令和6年度）
  - ①町内会現況届
  - ②町内会活動活性化補助金
  - ③町内会デジタル活用促進補助金
- (3)効率化の取組事例について
  - ①デジタルを活用した役員間の情報共有
  - ②デジタル回覧板
  - ③オンライン集金
- (4)今年度の取組

#### 3 ふるさと納税（個人版）について

- (1)本市へのふるさと納税寄附額（過去3年間）と今年度の目標額
- (2)令和6年度のふるさと納税寄附額の多かった月（上位3位）
- (3)7年10月からのルール改正点と影響
- (4)寄附額を増やすための取組について
  - ①7年9月まで
  - ②7年10月以降

|   |       |   |   |   |
|---|-------|---|---|---|
| 7 | 田代よしき | 無 | 所 | 属 |
|---|-------|---|---|---|

#### 4 道路通報システムについて

- (1) 目的
- (2) 令和6年度のシステム利用件数（3か月ごとと合計件数）
- (3) 職員の業務への影響
- (4) 市民への認知度向上のための取組
- (5) 本格運用に向けた課題

#### 5 鹿児島市街路樹再生プランについて

- (1) 目的
- (2) 街路樹の現状と課題
- (3) パブリックコメント手続の実施結果について
  - ① 概要（意見の提出者数・意見の件数）
  - ② 主な意見の概要
- (4) プラン実施による経費削減効果及び地球温暖化対策への寄与
- (5) 今後の取組

#### 6 荒天時の市立小中学校の一斉休校判断基準について

- (1) 令和7年2月8日の市立小中学校の休校の数と割合
- (2) 市立小中学校の休校判断のプロセス
- (3) 北九州市の取組
- (4) 本市は一斉休校判断基準を保護者に示すべき

#### 7 市立小中学校におけるクレーム対応について

- (1) 天理市の保護者対応窓口の概要と効果
- (2) 市立小中学校のクレーム対応方法と今後の取組

#### 8 PFASについて

- (1) PFASの中のPFOS及びPFOAとは
- (2) 水道水中のPFOS及びPFOAの健康への影響
- (3) 水道水中のPFOS及びPFOAの基準
- (4) 水道局のPFOS及びPFOAへの取組状況
- (5) 市民に水道水の安全を周知する広報活動の実施状況

#### 9 水道局の資金運用について

- (1) 資金運用方針
- (2) 現状の運用商品と総投資額
- (3) 運用収益額の推移（過去5年間）
- (4) 熊本市上下水道局の債券運用について
  - ① 運用額
  - ② 運用期間
  - ③ 運用形態
  - ④ 運用収益予定額
- (5) 本市水道局が債券運用を導入することへの見解

| 順序 | 発 言 者       |         | 答弁を求める者           |         |
|----|-------------|---------|-------------------|---------|
|    | 氏 名         | 会 派 名   | 教 育 長             | 関 係 局 長 |
| 8  | う か り と も え | 立 憲 社 民 | 農 業 委 員 会 事 務 局 長 |         |
|    |             |         |                   |         |
|    |             |         |                   |         |

#### 発言の要旨

### 1 明和の小・中学校統合問題について

#### (1) まちづくり協議会について

- ①まちづくり協議会の設置目的及び位置づけ
- ②「地域全体を代表する組織」とみなされることでの公的な影響に対する見解

#### (2) まちづくり協議会から提出された要望書について

- ①要望書についてどのように受け止めているのか
- ②要望書や明和小・中学校の義務教育学校化について今後、教育委員会としてアンケートや意見募集など保護者を含む地域住民に対して行うことへの見解
- ③要望書の手続の妥当性をどのように確認し、住民自治の信頼をどのように担保していくのか（プロセスの検証方法・実務的な確認体制）
- ④正当性（手続の透明性と合意形成）を確認し担保する責任についての見解（責任論と行政の姿勢）
- ⑤教育委員会は地域合意形成の在り方をどのように認識しているか
- ⑥住民同士の尊重と対話に基づく意思形成が行われるよう、教育委員会としても積極的に関与し、支援することについての見解

### 2 ファミリー・サポート・センター事業（子育て援助活動支援事業）について

#### (1) 支援内容

- (2) 提供会員と依頼会員の登録者数と利用実績（令和5年度と6年度）及び昨年度における改善状況
- (3) 市外からの利用に係る他都市の取組事例
- (4) 他都市との相互利用や連携について本市の見解
- (5) 制度運用の中で柔軟な対応の具体例
- (6) さらなる会員獲得と利用促進に向けたホームページの見直しへの見解

### 3 産後ケア事業について

- (1) 産後ケア事業の目的と背景
- (2) 母子保健法改正の背景と改正内容及び本市の取組への見解
- (3) 産後ケアの利用者数と全産婦数における利用者数の割合（過去5年）
- (4) 産後ケアを受託している産科医療機関と助産院のそれぞれの違いの認識
- (5) 本市ホームページでの取組状況及び課題
- (6) ホームページの見直しに関して当局の見解
- (7) 本市における助産院の役割について当局の認識
- (8) 国の通知内容を踏まえて、地域医療体制の中で助産院をどう位置づけていくか

|   |        |         |
|---|--------|---------|
| 8 | うかりともえ | 立 憲 社 民 |
|---|--------|---------|

#### 4 学用品等リユース事業の導入について

##### (1) 令和6年度の本市の学用品等リユースについて

- ①市立学校の学用品のリユースについて取り組んだ学校数及び形態（小・中学校別）
- ②リユースで扱われている主な物品の種類（小・中学校別）
- ③リユースを行っている主な実施主体と学校数（小・中学校別）

##### (2) 文部科学省「令和5年度子供の学習費調査」について

- ①公立小・中学校それぞれの学習費総額
- ②6年度の市立学校における給食費と学校徴収金を合わせた年額の平均（小・中学校1学年分）

##### (3) 久留米市や甲府市などで行われている取組事例について

- ①取組の背景及び目的（各自治体ごと）
- ②6年度の取組実績（各自治体ごと）

##### (4) 学用品等のリユース事業について教育委員会の見解

#### 5 農業関連について

##### (1) 農業アドバイザー配置事業について

- ①農業アドバイザーを配置した経緯及び目的
- ②農業アドバイザーの勤務日数と報酬
- ③着任後からの活動実績（実施回数など含む）
- ④アドバイザー主体の研修会の周知方法
- ⑤農業委員会との連携状況
- ⑥農業委員会との連携強化の取組の見解
- ⑦農業アドバイザーと農業経営アドバイザーの違い
- ⑧現在の制度に対する第三者の評価やアンケート実施についての見解

##### (2) 農業委員会について

- ①農業委員の男女比と平均年齢（令和4年度と7年度を比較して）
- ②遊休農地や耕作放棄地に対する取組とその課題
- ③遊休農地と耕作放棄地に対する今後の具体的な取組

| 順序 | 発 言 者     |       | 答弁を求める者        |       |
|----|-----------|-------|----------------|-------|
|    | 氏 名       | 会 派 名 | 市 長<br>関 係 局 長 | 教 育 長 |
| 9  | 大 木 ひ か る | 無 所 属 |                |       |

#### 発言の要旨

- 1 ラーケーションについて
  - (1) ラーケーションとは
  - (2) ラーケーションの背景・目的
  - (3) 他都市の取組状況（愛知県・山口県）
  - (4) 本市におけるラーケーション導入についての考え
- 2 公園の遊具について
  - (1) 市内にある公園数と遊具数
  - (2) 破損によって使用禁止になっている遊具の数（令和4、5、6年度）
  - (3) 遊具の修繕等の数（4、5、6年度）
  - (4) 遊具修繕等のための年間予算（4、5、6年度）
  - (5) 遊具の修繕・改築を急ぐ声があるが当局の考えは
- 3 特別職報酬等改定について
  - (1) 特別職報酬等審議会の答申を全て尊重する義務はあるか
  - (2) 本年第1回定例会において、期末手当についても特別職報酬等審議会で諮るべきと議員から意見があったことに対する特別職報酬等審議会の見解
  - (3) プライマリーバランスが赤字かつ市債が増え、基金を取り崩している状況下で、特別職の給料、議員報酬を引き上げることに對して市長の見解
- 4 相乗りタクシー実証実験事業について
  - (1) 事業の背景と目的
  - (2) 実施スケジュールと実施期間がずれた理由
  - (3) 利用者状況と相乗りになった数
  - (4) 利用が伸びなかった理由
  - (5) 本実証実験の結果を今後どう生かしていくのか
- 5 市場拡大を目指す事業者への支援について
  - (1) 輸出チャレンジ支援事業の実績と主な内容（令和4、5、6年度）
  - (2) 地域商社支援事業の実績と主な内容（6年度）
  - (3) 海外展開を伴う商談成約件数の進捗状況とその内容（4年度以降の主な輸出品及び輸出国）
- 6 有害鳥獣被害対策事業について
  - (1) 有害鳥獣による農作物への主な獣種ごとの被害金額（令和6年度）
  - (2) 被害防止のための電気柵導入に対する補助件数と金額（4、5、6年度）
  - (3) イノシシ等の捕獲後の処理

|   |       |   |   |   |
|---|-------|---|---|---|
| 9 | 大木ひかる | 無 | 所 | 属 |
|---|-------|---|---|---|

7 鹿児島アリーナについて

- (1) 改修延期に伴うスケジュールの変更点
- (2) 改修に伴うユニバーサルデザインへの対応
- (3) 改修後に予定されるメインアリーナの座席数
- (4) 駐車場と周辺地域の渋滞について
  - ① 駐車台数と満車になる日数と割合（令和4、5、6年度）
  - ② 町内会や近隣住民からの要望・苦情の有無と内容
  - ③ 近隣商業施設からの要望・苦情の有無と内容
  - ④ 改修工事に伴い利用者増が見込まれる中で、先送りにできない問題だと捉えるが、市長の考え

8 新島の行政連絡船について

- (1) 廃止を検討している理由
- (2) 安全統括管理者の配置が困難な理由は何か
- (3) 住民との協議はどのような頻度で、どのような内容がなされているか
- (4) 住民の生活に関わる問題だと捉えるが、市長の考え

| 順序 | 発 言 者     |           | 答弁を求める者        |       |
|----|-----------|-----------|----------------|-------|
|    | 氏 名       | 会 派 名     | 市 長<br>関 係 局 長 | 教 育 長 |
| 10 | 大 園 た つ や | 日 本 共 産 党 |                |       |

#### 発言の要旨

##### 1 市長の政治姿勢について

- (1) 年金制度改正法案の内容と「マクロ経済スライド」を廃止し、「物価・賃金に応じて引き上がる年金」にする必要性についての見解

##### 2 本市の公共交通の維持・確保について

###### (1) 交通局のバス事業の現状について

- ① 民間委託路線の引き戻しの内容と影響
- ② 本年7月からの路線・ダイヤ見直しの内容と影響
- ③ 運転士確保策の活用状況と効果
- ④ 運転士の不足状況

###### (2) 交通局のバス運転士の処遇改善について

- ① 正規職員化の現状と今後の取組
- ② 週休2日制の考え方
- ③ 賃金の改善状況と今後の取組
- ④ 運転士の確保における処遇改善の必要性
- ⑤ 京都市の取組の評価

###### (3) 敬老パスの事業者負担金について

- ① 利用状況（過去3年間）
- ② 市・事業者・市民の負担額及び事業者ごとの内訳
- ③ 処遇改善に努める事業者へ免除を検討してはどうか

##### 3 市営住宅退去時の原状回復費用について

###### (1) 過去3年間の推移（最高額・最低額・平均）について

- ① 本市負担分
- ② 居住者負担分
- ③ それぞれの主な内容

###### (2) 令和7年度の取組について

- ① 改善内容
- ② 期待される効果と奏功事例

###### (3) 7年3月24日の参議院・国土交通委員会での質疑の内容と当局の受け止め

###### (4) 国土交通省事務連絡「公営住宅の原状回復費用の取扱い」について

- ① 内容
- ② 経年劣化についての本市の考え方

###### (5) 京都市「市営住宅の明渡し検査及び原状回復等の費用の徴収に関する事務取扱要綱」の特徴

###### (6) 徴収金額表を公開するとともに、経年劣化を居住者負担に転嫁しない検討を

4 資源物回収活動補助金について

(1) 取組内容と意義

(2) 実績の推移について（過去3年間）

①登録団体数及び活動団体数、延べ活動回数

②令和6年度の実施回数補助の廃止の理由と影響についての見解

③補助金総額及び対象品目別の回収量

④回収量の減少の要因分析

(3) 環境基本計画との関係について

①資源化率の目標と進捗及び評価の推移

②資源物回収活動の回収量が資源物回収の総量に占める割合

③資源物回収の課題と今後の見通し

(4) 実施回数補助を元に戻して市民や団体の資源物回収を促進すべき

5 消防活動が困難な地域について

(1) 準消防警備強化地域について

①指定基準と指定されている地域数及び主な地域名

②準消防警備強化地域消防警備計画におけるこれまでの取組

(2) 消火栓設置要望について

①令和6年度消火栓設置要望の箇所数と主な地域名

②要望からの経過が最も長い地域と年数

③設置における課題

(3) 消防活動が困難な地域への対応と今後の考え方

6 吉野地域のまちづくり・県道鹿児島吉田線ののり面崩落を防ぐ対応について

(1) 県道鹿児島吉田線・滝之神周辺ののり面崩落の経過と対応

(2) 現在、実施されている事業の内容と工期

(3) 梅雨時期の安全対策の考え方

(4) のり面崩落を防ぐ抜本的な対策への県の見解と今後の見通し